

※平成31年以降の表記は、新元号に読み替えることとす

事業番号

0158

平成31年度行政事業レビューシート (復興庁)

事業名	三陸復興国立公園等復興事業			担当部局庁	復興庁		作成責任者		
事業開始年度	平成24年度	事業終了 (予定)年度	平成32年度	担当課室	統括官付参事官(予算・会計担当)		参事官 増田 直樹		
会計区分	東日本大震災復興特別会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	自然公園法第10条第1項			関係する 計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性国家戦略2012-2020(平成24年9月28日閣議決定) ・復興への提言(平成23年6月25日) ・東日本大震災からの復興の基本方針(平成23年7月29日閣議決定) ・岩手県東日本大震災津波復興計画(平成23年8月11日) ・宮城県震災復興計画(平成23年10月19日) ・三陸復興国立公園の創設を核としたグリーン復興のビジョン(平成24年5月7日) 				
主要政策・施策	観光立国			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	東日本大震災により、陸中海岸国立公園の公園利用施設の多くが甚大な被害を受けた。当該施設の復旧は、自然環境の保全のみならず、観光産業をはじめとした地元雇用の創出等、地域再建にも寄与するもの。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	三陸復興国立公園の集団施設地区、歩道等及び東北太平洋岸自然歩道の利用拠点において、安全・安心の観点から津波対策等の防災機能を強化しつつ、被災した既存利用施設の復旧整備や、観光地の再生に資する復興のための整備を行うとともに、国指定鳥獣保護区における保全事業を実施する。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求			
	予算 の 状 況	当初予算	859	544	544	881	226		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	2,079	1,288	450	237	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 1,288	▲ 450	▲ 237	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計	1,650	1,382	757	1,118	226			
	執行額	1,393	1,211	726					
執行率 (%)	84%	88%	96%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	162%	223%	133%						
平成31・32年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	31年度当初予算	32年度要求	主な増減理由					
	国立公園等整備費	811	156	地元から早期完了の要望もあり、R2予定事業を一部31年に前倒したことによる減額。					
	国立公園等維持管理費	71	70						
計	881	226							
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 32 年度
	震災前5年間の平均年間利用者数2,975千人に戻す。	三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)年間利用者数(※平成29年度成果については集計中)	成果実績	千人	1,383	-	-	-	-
			目標値	千人	2,975	2,975	2,975	-	2,975
			達成度	%	46.5	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	自然公園等利用者数調(環境省)								

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	28年度	29年度	30年度	31年度 活動見込	32年度 活動見込			
	活動実績	当初見込み									
三陸復興国立公園利用拠点及び公園外利用拠点の整備区域数	活動実績	箇所数	12	12	12	-	-				
	当初見込み	箇所数	10	11	12	12	12				
単位当たりコスト	算出根拠		単位	28年度	29年度	30年度	31年度活動見込				
	単位当たりコスト=X/Y X:執行額、Y:成果実績 「利用者1人あたりに係る事業費」 (成果実績=「三陸復興国立公園」利用者数実績) (平成29,30年度見込については目標値より算出)						円/人	1,007	407	244	
			計算式	執行額/成果実績	1,393,000/1,383	1,211,000/2,975	726,000/2,975				
政策評価、新経済・財政再生計画との関係	政策	-									
	施策	5.生物多様性の保全と自然との共生の推進									
	測定指標	定量的指標		単位	28年度	29年度	30年度	中間目標		目標年度	
		三陸復興国立公園内の利用拠点(集団施設地区)の年間利用者数(震災前5年間の平均年間利用者数2,975千人) (※平成29,30年度成果については集計中)						実績値	千人	1,383	-
			目標値	千人	2,975	2,975	2,975	-	-	2,975	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
当該事業を通じて、国立公園事業施設の復旧・復興を図ることで、国立公園の利用の回復・増進を図る。											
事業所管部局による点検・改善											
国費投入の必要性	項目			評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	地域の重要な観光資源である三陸復興国立公園の早期復旧と新たな拠点整備であり、国による整備ニーズは高い。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国立公園の保護又は利用のための施設の整備・管理は、自然公園法上、国が執行することが原則となっている。						
事業の効率性	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	「東日本大震災からの復興の基本方針(東日本大震災復興対策本部、平成23年7月29日)」において国立公園の創設を核としたグリーン復興に位置づけられており、優先度は高い。						
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	一般競争入札を原則としつつ、業務等の性質に応じて支出先を選定している。競争性のない随意契約については、地方公共団体との取決めによるものであり、妥当である。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。			有							
	競争性のない随意契約となったものはないか。			有							
	受益者との負担関係は妥当であるか。			-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。			○	「自然公園等施設技術指針」に基づく整備が行われており、コスト等の水準は妥当である。						
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○	中間段階においても、一般競争入札を原則としつつ、業務等の性質に応じて支出先を選定している。						
費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○	事業目的に合わせて支出されている。							
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			-							
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			○	土地所有者や関係機関、土地利用計画等における調整により、不測の日数を要したため。						
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。			○	「環境省公共事業コスト構造改善プログラム」に基づきコスト削減が図られている。						
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。			○	成果実績は成果目標と比較して、前年と同程度で推移している。						
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	「自然公園等施設技術指針」に基づく整備が行われており、低コスト化が図られている。						
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○	活動実績は見込みと比較して達成出来ている。						
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○	地域の重要な観光資源として年間利用者数は回復傾向にあり、活用が図られている。						

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名

点検・改善結果	点検結果	三陸地域の重要な観光資源である三陸復興国立公園の利用を早期に回復するため、主要な利用拠点等における優先度の高い事業を着実に推進している。事業の実施にあたっては、工事コスト縮減に取り組んでいる。
	改善の方向性	当該事業において、三陸地域の重要な観光資源である旧陸中海岸国立公園の主要な利用拠点等の施設を復旧することができたが、三陸復興国立公園への編入地域や東北太平洋岸自然歩道については、今後も着実な整備が必要である。

外部有識者の所見

令和2年度での事業の終了にむけ、引き続き適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。

行政事業レビュー推進チームの所見

現状通り	令和2年度での事業の終了にむけ、引き続き適切な進捗管理を行い、効果的・効率的な執行に努めること。
------	--

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	令和2年度の事業の完了に向け、引き続き効率的・効果的な予算の執行に努めていく。
------	---

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	134	平成25年度	190
平成26年度	223	平成27年度	0223	平成28年度	0210	平成29年度	0170
平成30年度	復興庁 (0158)						

※平成30年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を
 しているかについて
 補足する)
 (単位: 百万
 円)

```

      graph TD
        A[復興庁  
757百万円] -- "〔予算配分、事業採択、  
地方事務所等への助言〕" --> B[環境省  
726百万円]
        B -- "[配分]" --> C[東北地方環境事務所]
        C -- "[一般競争入札]" --> D["A:民間企業等  
726百万円(59件)"]
        E["〔工事の実施及び工事にかかる調査・設計等〕"]
      
```

費目・用途 （「資金の流れ」 においてブロック ごとに最大の金 額が支出されて いる者について 記載する。費目 と用途の双方で 実情が分かるよ うに記載）	A.阿部建設(株)			B.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	外注費	新築工事での外注費	278			
	現場経費	人件費・事務用品費・製本・竣工写真費	35			
	材料費	外注費以外の材料費	18			
	仮設経費	仮設事務所費・仮囲、外部足場費・機械 リース費	14			
	労務費	外注費以外の労務費・清掃費	8			
	運搬費	材料搬出入に掛かる運搬費	3			
	計		356	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者心札・一者心券又は 競争性のない随意契約となっ た 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	阿部建設(株)	7370001006928	平成29年度(仮称)名取ト レイルセンター新築工事 (事故繰越)	271	一般競争契 約(総合評 価)	5	76.8%	-
2	阿部建設(株)	7370001006928	平成30年度牡鹿半島博 物展示施設新築工事	85	一般競争契 約(総合評 価)	2	89.5%	-
3	(株)乃村工藝社	4010401023652	平成30年度(仮称)名取ト レイルセンター新築工事 (展示工事)	109	一般競争契 約(最低価 格)	1	89.3%	-
4	林崎建設(株)	9400001008051	平成29年度三陸復興国 立公園みちのく潮風トレ イル標識設置工事(大槌町 ~陸前高田市)(事故繰 越)	52	一般競争契 約(最低価 格)	2	99.5%	-
5	林崎建設(株)	9400001008051	平成30年度みちのく潮風 トレイル歩道整備工事	46	一般競争契 約(総合評 価)	1	47.5%	-
6	県南造園土木(株)	8400601000128	平成29年度明戸浜園地 整備工事(翌債)	42	一般競争契 約(最低価 格)	3	97%	-
7	(株)青秋	8420001006021	平成29年度三陸復興国 立公園みちのく潮風トレ イル標識設置工事(大槌町 ~陸前高田市)に係る工 事監理業務(翌債)(簡易 公募型指名競争)	14	その他	2	93.5%	-
8	(株)佐藤総合計画	4010601034111	平成29年度鮎川浜ビジ ターセンター設計業務(翌 債)(簡易公募型指名競 争)	13	その他	6	26.3%	-
9	(株)松下設計	5010001140772	平成29年度三陸復興国 立公園みちのく潮風トレ イル標識整備計画等策定 業務(陸前高田市から山 元町間)(翌債)(簡易公 募型指名競争)	7	その他	2	61.3%	-
10	(株)環研東北支社	5010001140772	平成29年度三陸復興国 立公園みちのく潮風トレ イル標識整備計画等策定 業務(陸前高田市から山 元町間)(翌債)(簡易公 募型指名競争)	7	その他	2	61.3%	-

11	(株)エス・アイ・エイ	9060001006429	平成30年度みちのく潮風 トレイル枯損木除去業務	4	一般競争(最 低価格)	1	93.1%	-
12	(株)おしか創業	9370001031445	平成30年度三陸復興国 立公園牡鹿半島ビジター センター事業計画策定等 業務	1	随意契約 (少額)	3	-	-